

高齢化の現状を踏まえた今後の箕面育成園のあり方検討会（第1回） 議事録（要約版）

日 時：平成26年 9月22日（月）13：30～15：30

会 場：稲スポーツセンター多目的室

出席者：委員11名 事務局員5名

はじめに

---

- 「高齢化の現状を踏まえた今後の箕面育成園のあり方検討会」の運営要綱の確認。
- 今後の予定 今年度中に4回開催。来年1月には育成会活動支援部会にて中間発表。来年度11月8日の記念式典に研究報告として発表を予定。
- あり方検討員委員のメンバー確認。

あり方研究会について

---

- 資料③に基づいて、あり方委員会を招集した理由を説明。箕面育成園は家族の思いで造られた施設だからこそ関係者みんなで研究したい。
- 資料④に基づいて、箕面育成園の現状の説明。箕面育成園の利用者の平均年齢は、男女ともに66歳。移動、食事、入浴、排せつでの介助対象者の増加、全般的な見守り声かけの必要性が増加。
- 箕面育成園は介護施設ではない。介護施設としての施設・設備でない。しかも、設立して20年経って老朽化してきている。
- GHの入居者も高齢化して、その受け皿として箕面育成園が機能することもある。
- 医療面での課題がある。箕面育成園という施設では介護サービスを受けることが制度的に無理だから、在宅かグループホームの選択肢になる。
- 親亡き後を見据えて育成園を建てた。開設当初は希望が見えたが、実際に月日が経つと多くの課題が見えてきた。
- 開設当初のコンセプトは忘れてはならない。
- 簡単に介護施設への切り替えということもできない。家族の中で法制度の変更によって対応できること、できないことの整理ができていない方もいるのは事実。思いは昔のままだが、時代は流れている。

現状の箕面育成園について

---

- 日中活動場面と居室との移動中の見守り、入浴安全確保の問題などがある。
- 箕面育成園は生活介護と入所支援の指定を受けているが、日中活動の実態はどうか。現状・課題、その課題に対してどうしていくかが問われている。

- 職員体制はとれているのか。夜勤は男性・女性フロアに各 1 名ずつ配置している。十分であるとはいえない。常に求人はしているが集まらない。
- 育成園が介護保険適用施設となることはできるのか？また、そうなれば収入が増えて職員が雇用できるのか？
- 最近、育成園から退所された方は、精神科の病院から老健施設へ移動された。
- 入院して、退院後に箕面育成園に戻れない方がおられるが……。食事を口から摂れるか、転倒すると骨折・寝たきりになるなどのリスクがあると箕面育成園では対応できない。

#### 方策について

---

- 老健の費用はどれくらいか。多様。選択肢があってサービス内容により費用は異なる。
- 特別養護老人ホーム（終身）は、待機者が多く数年待ち。法改正で今後は要介護 3~5 でないと入所は難しくなる方向。介護老人保健施設は、数ヶ月待ち。6、7 万で追加費用がかかることもある。終身ではないので、病院に戻ったり、他の施設へ回ったりする。利用者さんの状態で病院も一般と精神科に分かれる。入院の条件として 24 時間付き添うことを求められる場合もある。病院側の事情で帰されることもある。
- 国は在宅ケアをすすめていく方針である。
- GHは家とみなされているのか。その通り。
- 介護保険予算、障害福祉予算、最大限サービスを使えるように早期からの準備が必要。
- 議論の方向性の一つとしては、内か外にGHを作ることがある。20 人のホームは大阪府が現状では認めない。2 階、3 階を利用して 10 人のホームやサービス付き高齢者住宅をつくり、1 階はサポートセンターを作るなどの案がある。
- 補助金はもらえるのか。GHの改修にはでない。
- GHをバックアップする拠点が必要。
- GHが住まいならば土日の帰省があることはおかしい。24 時間 365 日安心して過ごせるようにしてほしい。
- 入所という枠組みだけでは高齢化を支えきれないという現実がある。

## 高齢化の現状を踏まえた今後の箕面育成園のあり方検討会（第2回） 議事録（要約版）

日 時：平成26年10月15日（水）10:00～12:00

会 場：箕面市立多世代交流センター 会議室

出席者：委員12名 事務局員3名 傍聴者1名

はじめに \_\_\_\_\_

- 前回の確認事項3点。①は箕面育成園が入所施設のままでは課題がある。②介護保険が使えるようにする。③今より利用者が安全で安心して豊かに生活できるようにする。
- 配付資料の説明。特に資料⑤は高齢者を町で困むという例でシェア金沢の取り組みです。人が集まる仕掛けをつくる例としてということで用意した。
- 前はグーテンも育成園もまざった議論になっていたのではないかと。職員が現状に疲弊しているから容れ物を替えるというようなことで課題は解決するのか。という意見がある。

家族の立場から \_\_\_\_\_

- 親は入所施設に入ることによって安心できる。重度の子をもつ親はず入所を考慮するのでないか。
- 入所の育成園だからこそ、病気がわかったという話がある。
- 高齢者だけの住まいという考え方で進めることには問題がある。
- 職員配置数を考えれば、入所施設よりGHの方が安心できるのではないかと。
- 胃ろうになればGHを出なければならぬか。在宅介護での対応しか現実的には無理だろう。
- GHで認知になったら育成園で受けてもらえるか。臨時では対応できるが長期では難しい。
- 育成園の運営面ではどうか。介護の度合いが増せばさらに厳しい状況になるので、実態を替えないと無理だろう。
- 育成園の建物は使えるのか。使える。

利用者の立場にたつて \_\_\_\_\_

- サービス付き高齢者向け住宅などでは利用者負担はどの程度か。
- 介護保険を利用すれば自己負担はどのようになるか。
- 現在の35名の入所の方が今後どうされるのか。

※次回は利用者の視点にたつて、具体的に検討する

